

令和2年度事業報告書

学校法人岩永学園

1 学校法人の概要

(1) 教育理念

「何のために」を追求

「今、何のために学んでいるのか」等、常に将来の自分を意識して学んでください。勉強も、国家試験も、就職も、そして、人生も、すべては「自分事」です。誠実に日々の学生生活を送ることが、進路実現、自己実現のエキスです。「与えられる学び」ではなく、自己の「意思ある学び」こそが大切です。

「社会が求める人材」の育成

社会のニーズに配慮した「現場に強い人材」の育成を目指します。本校では、各学科の「専門力を含めた人間としての総合力」の育成に努めつつ、関係施設等の連携を通して、各分野における「実践的な力」を育成します。

「人格の形成」

誠実（あいさつ・心くばり）、気力（体力・集中力）、知恵（感性・思考）、行動（意識・存在感）の4つの視点から指導を行い「人間力の向上」に努めます。「確かな専門力」、「豊かな人間力」、「逞しい体力」を育み、相手の立場に立って考えることができる医療人を育てます。

「社会に貢献」

学内の学びにとどまらず、地域や社会に出てボランティア活動や支援活動、行事等への積極的な参加を通して、「自己を知る」、「地域を知る」、「人を知る」、「社会を知る」ための学びを推進します。人として生き、人と共に生き、人のために生きるプロフェッショナルの育成を目指します。

(2) ビジョン

「地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる」

ビジョン実現に向けたテーマ

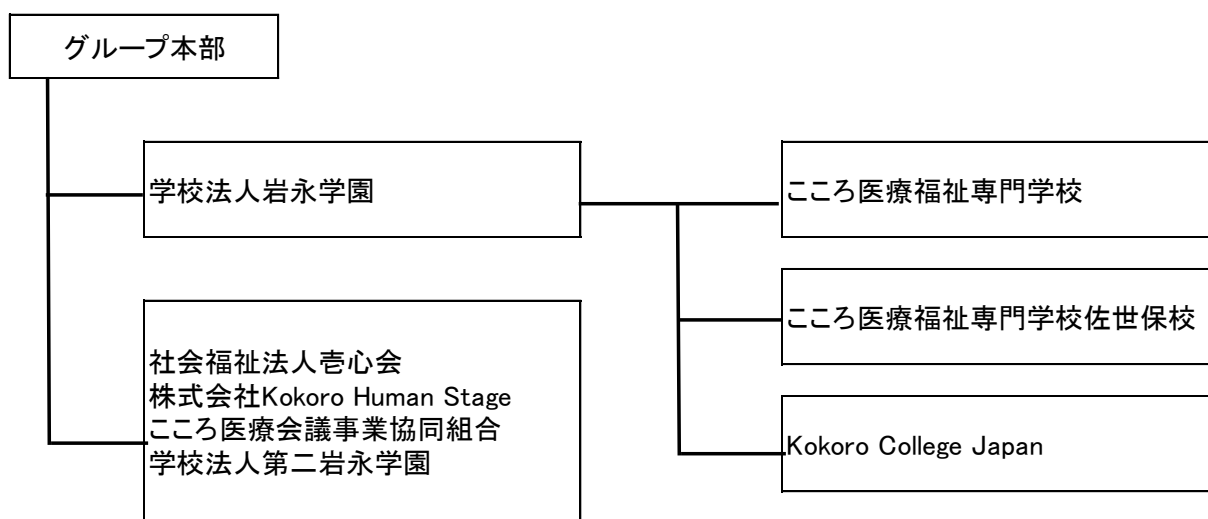
- 地域社会から必要とされる組織であり続ける
- 地域社会から必要とされる人材を提供する

(3) 沿革

| | | | |
|-------|----|--|----|
| 昭和62年 | 1月 | 長崎カイロプラクティック学院 開校 〈位置〉長崎市八幡町3丁目17 | |
| 平成8年 | 1月 | 日本福祉整体学院へ名称変更 | |
| 平成13年 | 3月 | 日本福祉整体学院が長崎県知事認可 各種学校となる | |
| 平成14年 | 4月 | 愛宕校舎へ移転 〈位置〉長崎市愛宕3丁目19-23 | |
| 平成17年 | 4月 | 学校法人岩永学園 設置認可 | |
| 平成18年 | 4月 | 専修学校日本福祉整体学院 設置認可 初代校長 原宮之 任命される 介護福祉科(厚生労働大臣指定介護福祉士養成課程) 設置 健康科学科 設置 整体総合科 設置 | |
| 平成19年 | 4月 | こころ医療福祉専門学校へ名称変更 上銭座校舎竣工 〈位置〉長崎市上銭座町11番8号 理学療法科(厚生労働大臣指定理学療法士養成課程) 設置 柔道整復科(厚生労働大臣指定柔道整復師養成課程) 設置 介護福祉科を愛宕校舎より上銭座校舎へ移転 健康科学科を健康スポーツ科に名称変更愛宕校舎より 上銭座校舎へ移転 整体総合科を愛宕校舎より上銭座校舎へ移転 | |
| 平成20年 | 4月 | 健康鍼灸科 (厚生労働大臣指定はり師・きゅう師養成課程) 設置 | |
| 平成21年 | 4月 | 附帯教育事業 こころ医療福祉専門学校サテライト長崎駅前 〈位置〉長崎市大黒町7番4号 | 開設 |
| 平成22年 | 4月 | トータルビューティ科(厚生労働大臣指定美容師養成課程) 設置 こころプロフェッショナルカレッジ長崎へ名称変更及び移転 〈位置〉長崎市大黒町10番10号 KoKoRo ビル 基金訓練 4科開講 | |
| 平成23年 | 4月 | トータルビューティ科をトータル美容科に名称変更 こころプロフェッショナルカレッジNBC校 開校 〈位置〉長崎市上町1番35号 基金訓練 3科開講 | |
| 平成23年 | 9月 | こころ鍼灸整骨院(コナミスポーツ内) 開院 こころプロフェッショナルカレッジ高等部 設置 学校法人国際学園 星槎国際高等学校のサポート校として 通信制生徒受入開始 | |
| 平成24年 | 1月 | こころプロフェッショナルカレッジ高等部が 長崎県教育委員会指定技能連携 教育施設(星槎国際高等学校との連携)となる | |
| 平成24年 | 4月 | こころプロフェッショナルカレッジ へ名称変更 | |

| | |
|----------|--|
| | こころプロフェッショナルカレッジ高等部 開校 |
| | 医療看護科 開校 |
| 平成25年 4月 | こころ医療福祉専門学校佐世保校 柔道整復科（厚生労働大臣指定柔道整復師養成課程） 設置 健康鍼灸科（厚生労働大臣指定はり師・きゅう師養成課程） 設置 |
| | 学校法人 第二岩永学園 こころ美健福祉専門学校 開校 |
| | こころプロフェッショナルカレッジ高等部を こころ夢未来高等学院に名称変更 |
| 平成25年10月 | 学校法人 第二岩永学園 こころ美健福祉専門学校日本語科 設置 |
| 平成27年 6月 | 社会福祉法人 壱心会 設立 |
| 平成27年10月 | 特別養護老人ホーム 壱岐のこころ 開所 |
| 平成27年10月 | こころ医療福祉専門学校佐世保校 日本語科 設置 |
| 平成28年 4月 | こころ未来高等学校 開校 |
| 平成28年10月 | Kokoro College Japan 開校 日本語科 設置 |
| 平成29年 1月 | ACU（アジア介護協同組合）長崎支部 開所 |
| 平成29年 4月 | こころ医療福祉専門学校壱岐校 開校 介護福祉科（厚生労働大臣指定養成課程）設置 |
| 平成29年 5月 | 株式会社 Kokoro Human Stage 設立 |
| 平成29年 9月 | 介護付き有料老人ホーム こころのしろ 開所 |
| 平成29年10月 | 長崎医療・介護求人センター 開設 |
| 平成30年 3月 | こころ美健福祉専門学校 廃校 |
| 平成30年 4月 | こころ医療福祉専門学校 日本語科 設置 |
| 平成30年 7月 | こころ医療介護事業協同組合 設立 |
| 平成30年10月 | 株式会社 Kokoro Human Stage 壱岐事業所 開所 |

3 組織概要



4 設置する学校・学科の概要

(1) こころ医療福祉専門学校

| 区分 | 課程名 | 学科/コース名 | 修業年限 | 入学定員 (学級数) | 総定員 (学級数) |
|-------------|--------------|--------------|------|---------------|--------------|
| 昼 間 部 | 医療 専門課程 | 理学療法科 | 3年 | 40名 (1) | 120名 (3) |
| | 社会福祉 専門課程 | 介護福祉科 | 2年 | 40名 (1) | 80名 (2) |
| | 医療 専門課程 | スポーツ柔整科 | 3年 | 30名 (1) | 90名 (3) |
| | | スポーツ鍼灸科 | 3年 | 30名 (1) | 90名 (3) |
| | 衛生 専門課程 | スポーツセラピスト科 | 2年 | 40名 (1) | 80名 (2) |
| | 文化教養 専門課程 | 日本語科 | 1.5年 | 80名 (4) | 80名 (4) |
| | | | 1.8年 | | |
| 2年 | | | | | |
| 夜 間 部 | 医療 専門課程 | 柔道整復科 夜間部 | 3年 | 30名 (1) | 90名 (3) |
| | 文化教養 高等課程 | 整体セラピスト科 夜間部 | 1年 | 30名 (1) | 30名 (1) |
| 総 計 | | | | 320名 (11) | 660名 (21) |

(2) こころ医療福祉専門学校佐世保校

| 区分 | 課程名 | 学科/コース名 | 修業年限 | 入学定員 (学級数) | 総定員 (学級数) |
|-------------|---------------|--------------|------|---------------|--------------|
| 昼 間 部 | 医療 専門課程 | スポーツ柔整科 | 3年 | 30名 (1) | 90名 (3) |
| | 文化・教養 専門課程 | 日本語科/2年コース | 2年 | 120名 (6) | 120名 (6) |
| | | 日本語科/1.5年コース | 1.5年 | | |
| 総 計 | | | | 150名 (7) | 210名 (9) |

(3) Kokoro College Japan

| 区分 | 学科/コース名 | 修業年限 | 入学定員 (学級数) | 総定員 (学級数) |
|-------------|--------------|------|---------------|--------------|
| 昼 間 部 | 日本語科/2年コース | 2年 | 120名 (8) | 120名 (8) |
| | 日本語科/1.8年コース | 1.8年 | | |
| | 日本語科/1.5年コース | 1.5年 | | |

5 役員・評議員の概要

| | |
|-----|-----|
| 理事 | 6名 |
| 監事 | 2名 |
| 評議員 | 13名 |

6 教員の概要

(1) こころ医療福祉専門学校

| | | |
|------|-----|-----|
| 教 員 | 本務者 | 29名 |
| | 兼務者 | 39名 |
| 事務職員 | | 7名 |

(2) こころ医療福祉専門学校佐世保校

| | | |
|------|-----|-----|
| 教 員 | 本務者 | 10名 |
| | 兼務者 | 16名 |
| 事務職員 | | 6名 |

(3) Kokoro College Japan (募集停止中)

| | | |
|------|-----|----|
| 教 員 | 本務者 | 0名 |
| | 兼務者 | 0名 |
| 事務職員 | | 0名 |

7 事業の概要

(1) 学校自己評価結果より次の5点が挙げられる。

- (ア) 教員が熱意を持って授業に取り組んでおり、学生から授業に対しての高い評価結果が出ている。校長による授業巡回や新任教員への「新任教職員研修」、入学前教育などについて継続的に実施しており、評価につながっていると考えられる。
- (イ) 「各学科の専門力を含めた人間としての総合力」の育成を掲げて学級経営の充実を図り、豊かなコミュニケーション力を育てており、学生間及び学生と教員間の関係も良好であると言える。
- (ウ) 年3回以上の個別面談を実施し、学力、進路、生活等の支援を行っていることにより、昨年度比22名の退学者減につながった。
- (エ) 「国家試験年間指導計画」に基づく計画的・組織的な指導を推進、定期的な学科会や学科長ヒアリングを行ったことでコロナ禍において高合格率に繋げることができた。また、1年次からの進路説明会、進路後援会等のキャリア教育や臨床実習等を実施し、高い就職率に繋げることができている。卒業教育についてはコロナ禍の影響もあり、計画の十分な実施はできなかった。
- (オ) PDCAに変わる「委員会制」により、特にミドルリーダーの学校経営への参画と人材育成を狙いとしているが、現状としては予想した成果には届いていない。
- (カ) 留学生の日本語能力検定試験について、期待している結果は出ていない状況であり、指導計画の見直しを図っている。生活面については細やかな指導が行き届き、オーバーワーク等の問題はありながらも、例年になく問題は少なかった。学園全体で定期的に「留学生担当者会議」を実施し、他校と情報共有し、留学生指導の充実を図っている。
- (キ) 学生募集について、高校訪問やガイダンス参加、オンラインへの対応などを通して、高校との関係強化構築が進んでいる。日本語科の募集については世界的なコロナ感染拡大の影響を受け、留学生入学数が見込めていないことが問題である。

(2) 国家試験合格率, 就職率

| 学科名 | | 合格率 | 就職率 |
|----------|------|-------|-------|
| 理学療法科 | | 88.9% | 100% |
| 介護福祉科 | | 60.5% | 100% |
| スポーツ柔整科 | | 91.7% | 93.7% |
| 柔道整復科夜間部 | | 100% | 100% |
| スポーツ鍼灸科 | はり師 | 100% | 88.8% |
| | きゅう師 | 100% | |

(3) 退学者数

(ア) 令和2年度の退学者数は13名(前年から7名減)。個別面談等実施したことにより退学者数の減少に繋がった。

(イ) 退学者のうち9名(全体の69.2%)が1年生であり、学力や所属感を高める具体的指導がさらに必要となる。

8 財務の概要

本学園における令和2年度の財務の概要については、私立学校法の定めに従い作成した事業活動収支計算書および貸借対照表は次のとおり。

(1) 事業活動収支計算書

| 科目 | 令和2年4月1日～令和3年3月31日 |
|---------------|--------------------|
| 教育活動収入計 | 756,373,101 |
| 教育活動支出計 | 575,230,721 |
| 〔教育活動収支差額〕 | 181,142,380 |
| 教育活動外収入計 | 8,011,284 |
| 教育活動外支出計 | 2,213,487 |
| 〔教育活動外収支差額〕 | 5,797,797 |
| 〔経常収支差額〕 | 186,940,177 |
| 特別収入計 | 62,015,189 |
| 特別支出計 | 118,745,265 |
| 〔特別収支差額〕 | △56,730,076 |
| 〔基本金組入前当年度収支〕 | 130,210,101 |
| (基本金組入額合計) | △85,810,763 |
| 〔当年度収支差額〕 | 44,399,338 |
| 〔翌年度繰越収支差額〕 | △722,407,391 |

(2) 貸借対照表

| 科目 | 令和3年3月31日 |
|----------|---------------|
| 固定資産 | 708,381,813 |
| 流動資産 | 308,356,431 |
| 〔資産の部合計〕 | 1,016,738,244 |
| 固定負債 | 293,040,000 |
| 流動負債 | 405,996,836 |

| | |
|----------------|---------------|
| 〔負債の部合計〕 | 699,036,836 |
| 〔純資産の部合計〕 | 317,701,408 |
| 〔負債および純資産の部合計〕 | 1,016,738,244 |